

国士館大学 電子計算機センター

本学の情報処理教育は、20年の経験があります。この間、共同利用大型電子計算機センターを創設し、その主計算機システムも常に時代の最新鋭のものにリプレイスしています。また、運営は、各学部ごとの教授会等により選出された委員によって構成する運営委員会が設置され、専任スタッフも教員4名、職員8名と、教育・研究の支援サービスに陣容を整え、今日では私学有数の計算機センターとして定評を得るに至っています。

現在の主計算システム Honeywell DPS 8/70 は、大型上位機種であり、そのOSには、NECのACOS-6のルーツともなったGCOS-8を採用しているため、TSSや分散処理に威力を発揮するだけでなく、初心者でも容易に大型機を利用することができるようになりました。

情報処理教育は、その目標として(1)一般教養としての電子計算機の基礎知識を身につけること。(2)専門課程においてその分野における電子計算機の利用についての知識を持つ人材を養成すること。(3)情報科学の専門家および指導者の養成を目的とした教育を行なうこと。の3点を挙げ、全学部に情報処理関連カリキュラムが組み込まれています。

これらの受講生は授業時間外でも当センターを自由に利用できる他、受講生以外には個人に利用資格が与えられる制度を持っています。

他方、処理形態においては、バッチ、TSS、オンラインリアルタイム、通信または制御システムと偏ることのないサービスが可能な体制にあり、アプリケーションシステムにおいても、日本語処理、コンピュータグラフィックスはもちろんのこと、統計分析をはじめとする各種高度利用アプリケーションソフトウェアも逐一整備が進められています。

APPLICATION

当センターの利用現況をユーザー数から見ると、圧倒的に教育利用が主となっています。この場合は、各種プログラミング言語の実習に用いるのですが、処理形態はほとんどがTSS処理が占めていて、バッチ処理でも、その起動はTSSによるものが多く、カード入力による

国士館大学電子計算機センター
情報処理関連カリキュラム

開講科目名	受講者数 (S.60)	単位	対象学部等
情報科学概論	1783	4	政経, 工学, 文学, 体育, 法学, 政経II, 短大
情報学概論	112	4	政経
プログラミングA	455	2	政経, 法学, 文学, 体育, 政経II
プログラミングB	455	2	政経, 法学, 文学, 体育, 政経II
プログラム言語A	462	2	工学
プログラム言語B	104	2	工学
電子計算機概論	33	4	工学
電子計算法	31	4	工学
オペレーションズ リサーチ	29	4	工学
数値解析	61	4	工学
情報論	51	4	工学
管理工学総論	363	4	政経
システム設計	40	4	政経
演習I, II	16	各2	政経

従来までの使われ方は毎年減少してきました。一方、利用時間から見た時は、研究利用が主となっています。この場合の使われ方はきわめて多様なものです。工学部の研究ユーザーは、自室にまで端末回線を延ばして、そこでの実験を経ての数値計算、数値解析、計測データ分析等が行なわれることも少なくありません。また結果表示にコンピュータグラフィックスを用いて、グラフ化や図面化を行なうことも、長大なプログラム開発を行なうのもこれらのユーザーです。しかし近年は文系の研究利用ユーザーの増加がいちじるしくなってきました。たとえば、政経学部における経済分析、予測シミュレーションをはじめとする各種の分析研究、文学部における人口流動分析、地理学から考察する各種現象の特性研究、イラクから発掘してきた古代土器の歴史的解析、体育学部における体育測定、スポーツの種目ごとの選手たちの体脂肪発達状況、体格構成への影響の分析等々は、当センターの顕著なアプリケーション事例です。他にも卒業研究の主テーマとして情報科学の特定分野について、あるいはクラブ活動の一環として計算機を利用するなど多岐の分野におよび、これに伴ってアプリケーションもますます多種多様なものとなっています。(小笠原 清)